

四車線化事業の促進に向けた対応方針について (工事の早期発注及び地域企業者の受注機会への配慮)

NEXCO西日本(大阪市北区、代表取締役会長CEO:石田 孝)は、平成21年5月29日付けで整備計画が策定された四車線化事業を実施するために、日本高速道路保有・債務返済機構との協定変更及び国土交通大臣への事業許可申請の準備を進めているところです。

今回の四車線化事業は、高速道路ネットワークの機能強化、サービス向上など安全・安心の確保につながる事業であること、国の経済危機対策として事業化されたことを踏まえて、事業許可後速やかに事業着手し、一日でも早い四車線化を図り、地域の社会・経済の活性化に貢献するために、以下のとおり取り組むこととしましたのでお知らせします。

1. 四車線化事業の概要

四車線化事業は次の3路線であり、事業の概要は別紙のとおりです。

路線名	区間	延長
近畿自動車道松原那智勝浦線(阪和道)	御坊～南紀田辺	27km
四国横断自動車道阿南四万十線(高松道)	鳴門～高松市境	52km
九州横断自動車道長崎大分線(長崎道)	長崎～長崎多良見	11km

2. 現場対応組織の設置

平成21年8月1日付けをもって、次のとおり現場対応組織を設置し、速やかな工事着手に向け関係行政機関等や沿線地域の皆様への工事説明など準備を進めていきます。

なお、高松道の徳島地域の事業については、既存の徳島工事事務所にて所掌します。

関西支社 田辺工事事務所

当面の間、和歌山工事事務所(和歌山市黒田50)内に設置

四国支社 高松工事事務所

当面の間、四国支社社屋(高松市朝日町4-1-3)内に設置

九州支社 長崎高速道路事務所

現長崎管理事務所(諫早市海津町1008)の名称変更

3. 平成21年度工事発注予定

本事業は既に用地が確保されていることから、工事中用進入路計画や建設残土処理方法などの関係行政機関等との協議並びに沿線地域の地元への説明を早急に行い、並行して順次工事発注を行う予定です。平成21年度は、金額比率で5割以上の土木工事の発注を目標とします。

なお、具体的な工事件名等については、事業許可後速やかに公表する予定です。

4. 経済危機対策に配慮した工事発注方針

経済危機対策に配慮した工事発注方針について、次のとおり実施します。

(1) 工程短縮や出来高促進に効果的な工事の発注計画

工程短縮や出来高促進など経済危機対策の観点から効果的と判断される土木工事において、小規模工事も含めた工事発注計画を策定します。

(2) 発注標準の特例措置(特定建設工事共同企業体を活用した受注機会の拡大)

現行の発注標準においては、土木工事のC等級企業者は4億円未満の工事に単体のみでの競争参加を認めているところですが、特定建設工事共同企業体による円滑な共同施工を確保する上で十分な施工能力を有する当該地域のC等級企業者にあつては、A又はB等級業者と特定建設工事共同企業体を構成して4億円以上13億円未満の土木工事に参加できる特例措置を定めることにより、受注機会の拡大を図ります。

土木工事の発注標準比較(WTO基準額未満)

発注金額帯	WTO基準額 ~13億円	13億円~ 10億円	10億円~ 7億円	7億円~ 4億円	4億円~ 2億円	2億円未 満
現行	A A B	A A B	A B	B	B C	C
特例措置	A A B	A A B A C	A B A C B C	B B C	B C	C

特定建設工事共同企業体のC等級企業者は、当該施工地域に本社を有する社とする。

(3) 総合評価落札方式の活用

WTO基準額未満の土木工事の総合評価落札方式において、円滑な事業推進に資する能力として「地域精通度」及び地元下請負人や地元資材の活用をはじめとした「地域貢献度」などを積極的に評価することで、地域企業者の活用の促進を図ります。

総合評価落札方式の追加評価項目

評価項目		細目	評価内容	
企業の信頼性 社会性	地域精通度	地理的条件1	近隣地域での施工実績	
		地理的条件2	緊急時の施工体制	
	地域貢献度	地域への貢献	災害協定等	行政との災害協定の有無
			ボランティア活動	県内での活動実績の有無
地域企業の活用	建設資材の購入予定	地産品の購入予定の有無		
	下請負人の使用予定	一次下請けの県内活用率		

「発注標準」とは、工種毎に等級格付けされた会社が競争参加できる発注金額帯を示した表をいう。

「特定建設工事共同企業体」とは、複数の建設業者が、一つの建設工事を受注、施工することを目的として結成する共同企業体をいう。

「土木工事」とは、道路を構築する切土・盛土、橋梁の橋脚・橋台、トンネル及びそれにとりまなう付帯工などを施工する工事をいう。

「WTO基準額」とは、中央政府及び政府関係機関が物品及びサービスを調達する場合に、WTO政府調達協定が適用される基準額(当社建設工事の調達契約にあつては現在26.3億円)をいう。

「総合評価落札方式」とは、従来の価格のみによる落札方式とは異なり、「価格」と技術力など「価格以外の要素」を総合的に評価する落札方式をいう。

以上

四車線化事業の概要

		阪和道 (御坊～南紀田辺)	高松道 (鳴門～高松市境)	長崎道 (長崎～長崎多良見)
区間延長		26.9 km	51.8 km	11.3 km
構造物延長		橋梁: 4.3 km (16%) TN: 7.9 km (29%)	橋梁: 6.8 km (13%) TN: 7.0 km (13%)	橋梁: 2.0 km (18%) TN: 6.6 km (58%)
四車線化事業費		750 億円	680 億円	400 億円
直轄事業費 ⁽¹⁾		745 億円	610 億円	375 億円
有料事業費		5 億円	70 億円	25 億円
交通量(H19) ⁽²⁾		10,800 台/日 (10,000～11,300)	13,200 台/日 (11,000～15,000)	10,500 台/日 (9,200～11,000)
渋滞回数 ⁽³⁾		57 回	35 回	7 回
事故 状況	死傷事故率 ⁽⁴⁾	6.0 件/億台 [※]	4.3 件/億台 [※]	5.0 件/億台 [※]
	事故 件数 ⁽⁵⁾	死亡 事故	3 件	10 件
		負傷 事故	27 件	64 件

- 1 直轄事業分は、四車線化により増加する収入や管理費、料金徴収期間等に一定の仮定を
おいて算出した有料投資可能額を追加事業費から除いた額(現在、機構及び国交省と調整
中)
- 2 区間の平均日交通量。()内は、区間内の各 IC 間毎の平均日交通量の範囲
- 3 40 km/h 以下の速度が 15 分以上継続した回数(H17～H19 の実績)
- 4 1 億走行台[※]当たりの死傷事故件数(H17～H19 の実績)
(高速道路の平均値: 4.3 件/億台[※](H19))
- 5 暫定 2 車線として供用以降の死亡事故及び負傷事故の件数

新たな4車線化事業(位置図)

西日本高速道路株式会社 道路網図

平成21年4月29日現在

(凡例) 高速道路

- 営業中 3,306 km
- 事業中** 228 km
- - - 事業中** (新運転方式**²) 383 km

— 他的高速道路会社の管理する道路

※1 事業中のIC等の名称は仮称
 ※2 国土交通大臣が施行主体となって高速道路を整備する方式

長崎自動車道
長崎～長崎多良見

高松自動車道
鳴門～高松市境

阪和自動車道
御坊～南紀田辺



注1) 事業中道路 228km には、新名神高速道路の当面着工しない区間(大津JCT～城陽、八幡～高槻第 JCT) の延長 35km は含まない

平成21年 7月27日
西日本高速道路株式会社

お盆時期に行う主な混雑・交通安全対策

今年のお盆期間中(8月6日から8月19日まで)においては、ETC特別割引の拡大により、例年以上の渋滞・混雑が見込まれております。

NEXCO西日本では、渋滞予測やゴールデンウィークの混雑状況をもとに、上り坂等を中心とした速度低下注意喚起対策や、特に混雑するサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)での駐車場整理員による案内強化、大型車駐車スペースの確保、仮設トイレの増強や渋滞通過に時間を要する区間での携帯トイレ配布等の取り組みを例年のお盆時期以上に実施いたします。

(主な混雑・交通安全対策)

項目	主な対策	実施規模	前年比
本線の渋滞・安全対策	交通管理隊の増員 交通事故等緊急時の対応強化	延べ110台	1.6倍
	後尾警戒車の配置 「この先渋滞中」などの注意喚起	92箇所	2.0倍
	LED標識等の設置 上り坂等での速度低下注意喚起	26箇所	3.3倍
	トンネル照度アップ 暗がり、圧迫感緩和による速度低下対策	76箇所	新規
料金所の混雑対策	サービススタッフの増員 お客さま案内、ETCトラブル対応	延べ280人	1.1倍
SA・PAの混雑対策	駐車場整理員の配置	延べ1,800人	2.3倍
	大型車専属整理員の配置(注1)参照	延べ390人	新規
	大型車駐車スペースの確保(注1)参照	43箇所	新規
	清掃従業員の増員	延べ1,200人	1.1倍
	仮設トイレの設置(注2)参照	37箇所180基	3.9倍
	店舗の営業時間延長	7,800時間	1.7倍
	インフォメーションの営業時間延長	1,600時間	1.9倍
	ミストファンの設置 休憩施設広場の暑さ対策	70箇所103台	6.4倍

(注1)物流・バス事業者様からのご意見を踏まえ、ラバコーンの設置や専属駐車場整理員を配置し、大型車駐車スペースを確保します。

(注2)渋滞通過に長時間を要する区間や特に混雑が予想されるSA・PAには、緊急的な対応として、「携帯トイレ」の準備を行っております。

この他、分散利用に向けて次の広報・情報提供を実施いたします。

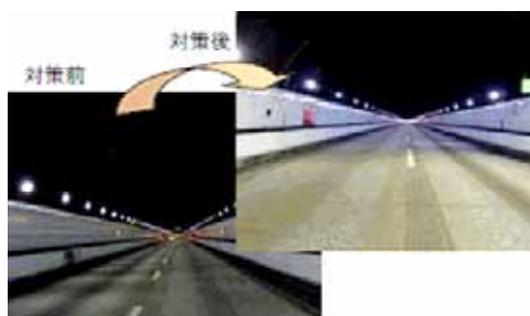
- ・新たな料金割引に関する広報（ホームページ、ガイドブック、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告）
- ・ETCレーンの安全通過等に関する広報（ポスター、横断幕等）
- ・アイハイウェイ  (<http://ihighway.jp>)、道路情報板、ハイウェイラジオ、サービスエリアの情報ターミナル等によるリアルタイムの交通情報提供
アイハイウェイの機能拡充など詳細は別紙参照
- ・渋滞時所要時間等の提供（名神・中国道など長時間の渋滞が予測される箇所に仮設LED表示板を10箇所設置）
仮設LED表示板の詳細は別紙参照
- ・『渋滞予測カレンダー』『料金・経路検索』による所要時間予測情報、『SA・PA駐車場込み具合まっぷ』などによる事前の情報提供
『SA・PA 駐車場込み具合まっぷ』などの詳細は別紙参照
- ・お客さまセンターのオペレーターの増員（現在20名 →35名） 昨年お盆時点10名

様々な取組み内容

参考資料

1. 上り坂やトンネル部など速度低下箇所（渋滞発生箇所）における対策

- ・ 下り坂から上り坂に変わる箇所など、上り坂勾配区間では無意識のうちに速度が低下し、後続車は車間確保のため連鎖的にブレーキを踏むこととなり渋滞が発生します。この渋滞の先頭付近に速度回復をお願いするLED標識、看板等を設置することで、渋滞を緩和します。
- ・ 同様に走行環境が暗くなるトンネル入り口付近や閉塞空間となるトンネル内でも一時的に速度低下が生じることから、渋滞発生ポイントとなるトンネル内の照明の照度をアップし、暗がりや圧迫感を緩和します。



トンネル内照明の照度アップ例

2. 渋滞時所要時間等の情報提供（仮設LED表示板）

- ・ 長時間の渋滞が予測される箇所に仮設LED表示板を設置し、渋滞時の所要時間情報、渋滞後尾警戒情報、その他注意喚起情報を提供します。

名神、中国道、阪和道など全10箇所



仮設LED表示板の表示例



仮設LED表示板の設置例

3. 大型車駐車スペースの確保

- ・ 物流、バス事業者様からのご意見を踏まえ、ラバコーン、専属駐車場整理員を配置するなど行い、山陽道、九州道等のエリアにおいて大型車駐車スペースを確保します。
- ・ 対策実施予定エリアにつきましては事前に各事業者、お客様に当社ホームページ等でお知らせします。



大型車駐車スペース確保状況の例

4. お出かけ前の情報提供

- ・ ご旅行の計画にお役立て頂けるよう、今年の高速度道路渋滞予測や過去のエリア駐車場混雑状況などをお知らせします。

《お盆の渋滞予測ガイド》

- ・ お盆期間の毎日の渋滞予測データを地図上でわかりやすく示した冊子『お盆の渋滞予測ガイド』を有人のSAPAを中心に8月3日頃から約10万部配布します。(掲載エリアは愛知県以西)
- ・ また、同様の内容の地図を当社ウェブサイト『渋滞予測カレンダー』内に掲載します。



冊子の表紙

冊子及びウェブ掲載内容

《SA・PA 駐車場込み具合まっぴ》

- ・ S A P Aの駐車場の混雑状況を調査 した結果を示した地図『S A ・ P A 駐車場混み具合まっぴ』を当社ウェブサイト『渋滞予測カレンダー』内に掲載しています。

平成19年の交通混雑期間(お盆等)のある一日に限った調査です。



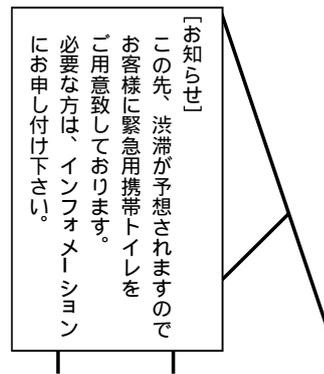
ウェブ掲載内容

5. 緊急的なトイレ対策（携帯トイレの配布）

- ・8月13日（木）は、下り方向（大阪から広島方面）で中国道宝塚東トンネルを先頭にピーク時の渋滞長が65km、渋滞通過に5時間半近く要することが予想されており、緊急的な対応としてお子様連れなどのお客さまに携帯トイレの無料配布を準備します。
- ・配布エリアにはお知らせ板を設置し、お客さまへご案内します。
お知らせ板は、携帯トイレの在庫がなくなり次第撤去します。



携帯トイレの例



お知らせ板(イメージ)

また、上記以外に西日本高速道路サービス・ホールディングス（株）の協力のもと、海水浴など行楽地方面や、特に渋滞長、渋滞通過時間が長くなると予想される路線を中心に以下のエリアにも携帯トイレを準備します。

（配布箇所）

配布エリア	数量	配布実施日	配布方法	配布主体	
名神 大津SA [Ⓣ]	約2,000個	8月13日（木）	インフォメーションで配布	NEXCO 西日本	
名神 草津PA [Ⓣ]	約2,000個	8月13日（木）	配布要員が配布		
名神 桂川PA [Ⓣ]	約2,000個	8月13日（木）			
名神 吹田SA [Ⓣ]	約500個	8月13日（木）	インフォメーションで配布		
阪和道 印南SA [Ⓣ]	約500個	8月13日（木）	テナント（売店）で配布	SHD	
	約500個	8月14日（金）			
	約500個	8月15日（土）			
舞若道 西紀SA [Ⓣ]	約500個	8月15日（土）	インフォメーションで配布		
山陽道 吉備SA [Ⓣ]	約500個	8月13日（木）			
	約500個	8月14日（金）			
	約500個	8月15日（土）			
米子道 蒜山高原SA [Ⓣ]	約500個	8月13日（木）			インフォメーションで配布
	約500個	8月14日（金）			
九州道 古賀SA [Ⓣ]	約500個	8月15日（土）		インフォメーションで配布	
	約500個	8月16日（日）			

6. 休憩施設広場における暑さ対策（ミストファン）

- 長時間のドライブでお疲れになったお客さまのリフレッシュ、暑さ対策として、西日本高速道路サービス・ホールディングス（株）において、休憩施設エリア内にミストファンを設置します。

ミストファン：ミスト（霧）を噴射することによりミストが蒸発する際の気化熱による冷却効果で、体感温度を3～5度下げることがあります。

設置箇所	設置数量	前年比（台数比）
名神大津 SA④⑤など 70箇所	103台	6.4倍



ミストファン設置例